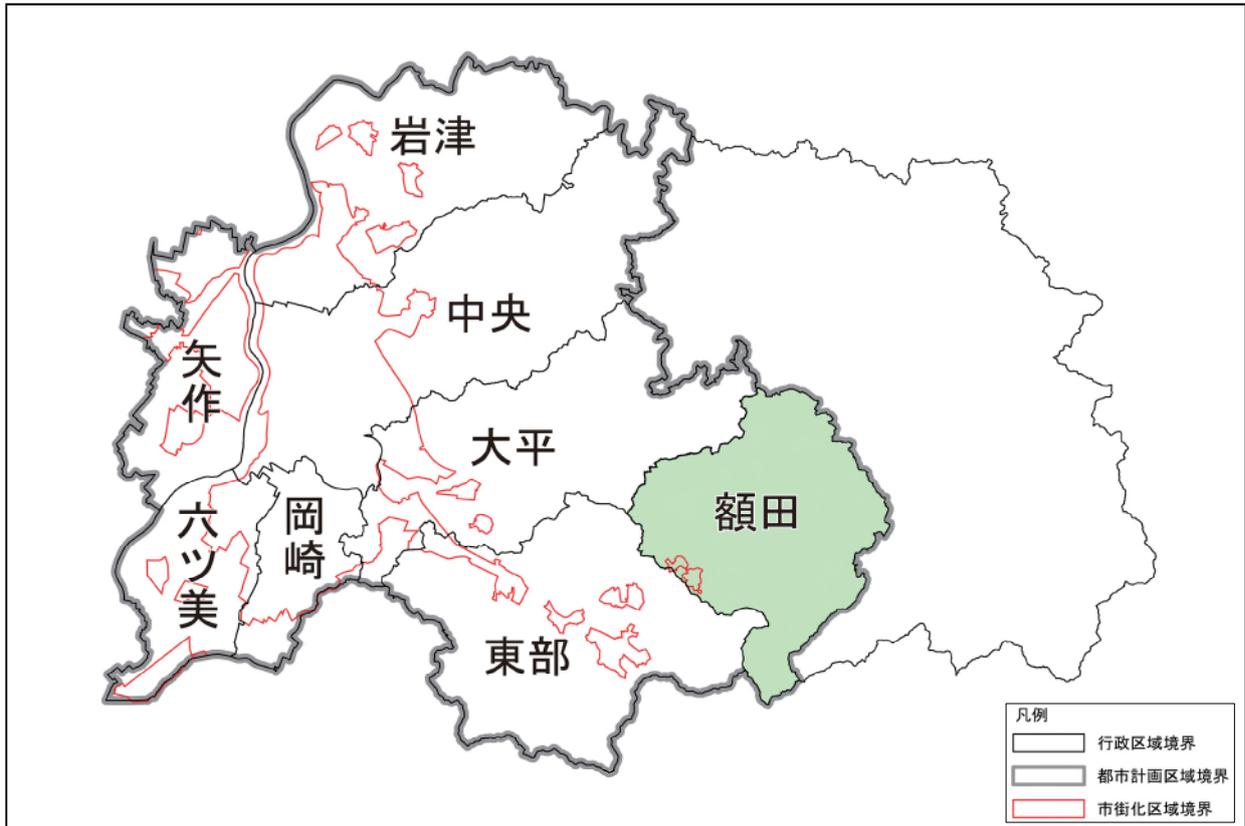


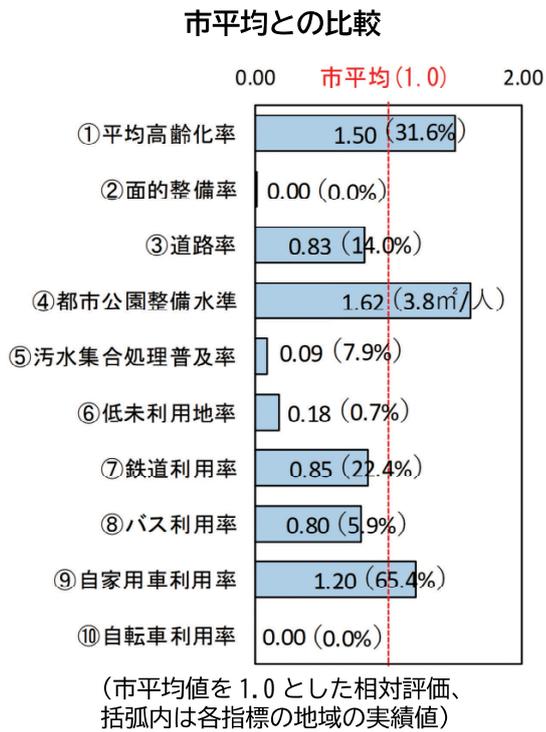
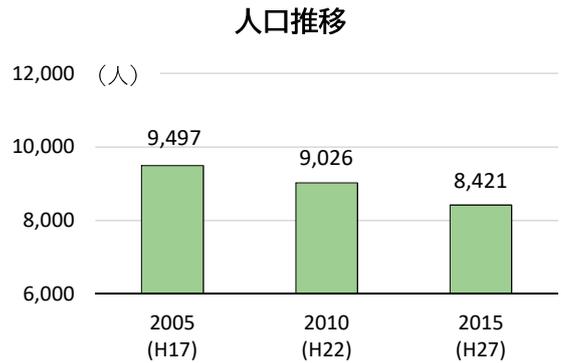
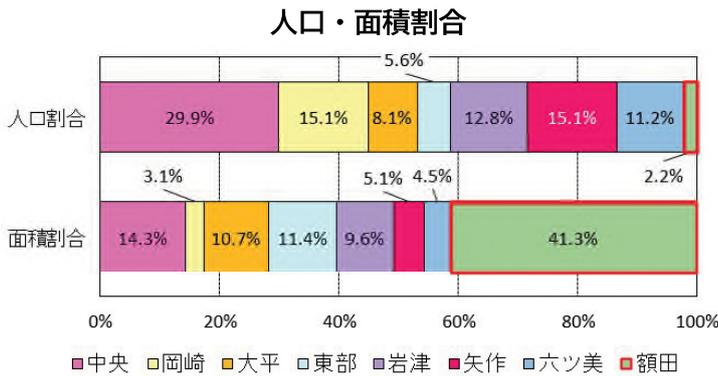
# 額田地域

地域の大半が森林で形成されており、川筋に沿って集落、農地が点在しています。



2015年人口： 8,421 人（市域全体の2.2%）  
 面積： 15,986 ha（市域全体の41.3%）

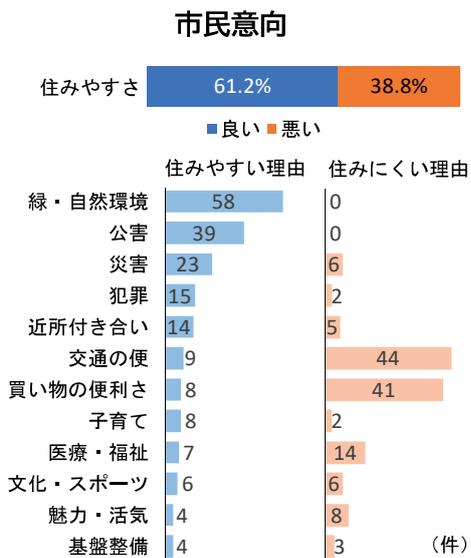
（1）地域の現況



#### 現況のまとめ

- ①地域全体に森林が広がっています。(現況・意向)
- ②岡崎東インターチェンジがあり、広域交通の利便性が高い地域です。(現況)
- ③くらがり溪谷や鳥川ホテルの里などの自然を生かした観光資源があります。(現況)
- ④額田センター周辺を地区拠点に位置づけ、生活利便性の維持を図っています。(現況)
- ⑤地域全体に土砂災害へのリスクがあります。(現況)
- ⑥人口は減少傾向にあり、高齢化率は市平均を上回っています。(比較)
- ⑦鉄道やバスなどの公共交通の利用率は市平均を下回っており、自家用車の利用率は市平均を上回っています。(比較、意向)
- ⑧ホテル学校やこども自然遊びの森「わんPark」などの自然環境について学べる施設があります。(現況)

(現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較  
(意向)：アンケート、説明会からの市民意向



## (2) まちづくりの課題と目標

## ＜額田地域の将来像＞

豊かな自然環境の保全・活用と地域の特徴を生かしたまちづくりを目指します。

まちづくりの課題	まちづくりの目標
<b>主要課題1 広域的なネットワークの変化への対応</b> ・広域交通の利便性の活用（現況のまとめ②）	<b>目標1</b> 広域的な交通利便性を生かした地域振興
<b>主要課題2 コンパクトでスマートな都市づくりへの対応</b> ・道路網を活用した地域間の連携の維持（現況のまとめ⑦） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ①） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ①）	<b>目標2</b> 自然環境を生かした活力の創造と交通ネットワークの維持・活用
<b>主要課題3 住み続けられる居住環境※の質の向上への対応</b> ・道路などの基盤施設※の充実（現況のまとめ④⑥） ・集落環境の維持・保全（現況のまとめ④⑥）	<b>目標3</b> 額田センター周辺を中心とした生活基盤の整った地区拠点の形成
<b>主要課題4 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化、観光振興への対応</b> ・自然・歴史・文化といった地域資源の保全・活用（現況のまとめ③） ・交流機能の充実（現況のまとめ②）	<b>目標4</b> 広域交通の利便性と魅力ある地域資源の保全・活用
<b>主要課題5 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応</b> ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑤）	<b>目標5</b> 市民などととともに土砂災害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応

### （3）地域のまちづくりの方針

#### 土地利用※に関する方針と主な施策

- 1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3
  - 面的な整備による良質な市街地の形成・・・1
    - ・既存の集落地を中心とした住宅地で、地域の協力のもと面的な整備も視野に入れた良質な市街地の形成を検討します。
- 2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成 目標1 目標2 目標3
  - 地域交流機能の維持・保全・・・2
    - ・額田センター周辺では地区拠点にふさわしい公共施設を中心にした地域交流機能の維持・保全に努めます。
- 3 産業振興に資する産業用地の確保・誘導 目標1 目標3
  - 産業用地の検討・・・3
    - ・必要に応じて地区計画※などを活用し、既存の工業地などの拡充や、岡崎東インターチェンジや国道473号などの幹線道路沿道で工業用地の確保に努めます。
- 4 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域※、都市計画区域※外の自然環境の保全 目標2
  - 無秩序な市街化の抑制
    - ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。
  - 市街化調整区域の自然環境の保全・活用
    - ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の森林や農地などの保全・活用を推進します。
  - 集落環境の維持
    - ・集落地などでは生活環境※の維持に努めます。

#### 道路・公共交通に関する方針と主な施策

- 1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進 目標1 目標2 目標3
  - 地域を支える道路網の整備
    - ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、国道473号の整備や県道切山夏山線の歩道設置などを促進します。
    - ・橋りょうやトンネルなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施し予防保全を図ります。
  - 生活道路の整備
    - ・既存の集落内では、生活環境の向上のため生活道路の整備に努めます。
- 2 安全で快適な歩行者、自転車通行空間の確保 目標3
  - 歩行者や自転車の通行空間の確保
    - ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。

### 3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 目標2 目標3

#### バス交通などの連携強化

- ・本宿駅と地区拠点を結ぶバス路線の維持・確保を図るとともに、中山間地域では生活の足としての交通を確保するため、地域での主体的な取組みを基礎とした移動手段の確保と利便性の向上に努めます。

## 公園・緑地に関する方針と主な施策

### 1 社寺林などの自然環境の保全 目標3 目標4 目標5

#### 身近な地域資源の保全

- ・自然・歴史・文化などの身近な地域資源を保全します。

#### 身近な広場空間の確保

- ・子どもたちが安全に遊ぶことができるような身近な広場空間の整備に努めます。

## 河川・上下水道に関する方針と主な施策

### 1 治水・浸水対策の強化 目標3 目標5

#### 情報伝達体制などの充実

- ・河川情報の収集と情報伝達体制、警戒避難体制の充実を図ります。

## 景観・自然環境に関する方針と主な施策

### 1 無秩序な開発の抑制による自然環境の保全 目標2 目標3 目標4 目標5

#### 自然生態系の保護

- ・男川流域ではホテル学校を活動拠点として、ホテルなどの自然生態系の保護に努めます。

#### 森林の保全・活用

- ・水源の涵養や多様な生物の増殖などを図り、市民が自然に触れあえる場として森林を保全・活用します。

## 防災に関する方針と主な施策

### 1 防災都市基盤の強化による災害に強い都市づくりの推進 目標3 目標5

#### 公共施設の耐震化

- ・橋りょうやため池などの公共施設の耐震化を推進します。

#### 防災機能を有する道路や広場などの整備

- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

### 2 土砂災害対策の強化 目標5

#### 土砂災害の防止

- ・森林の保全や災害防止施設の整備を促進し、土砂災害の防止に努めます。

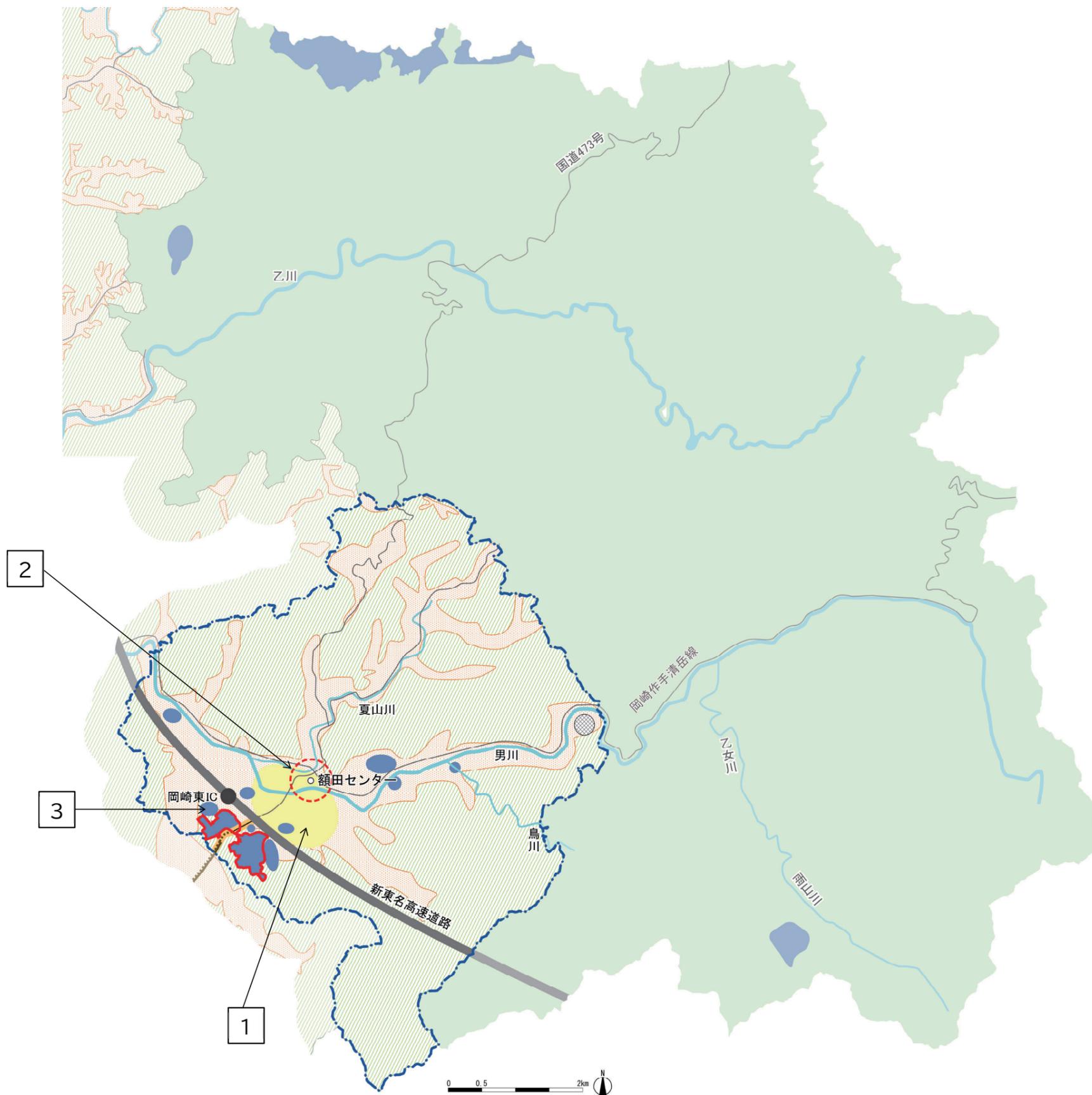
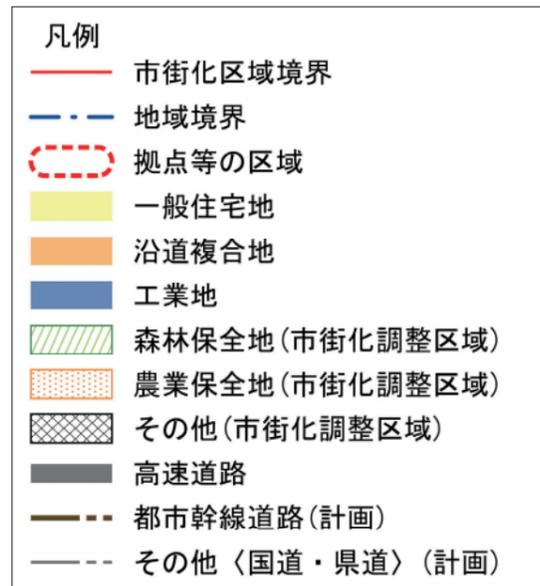
---

### 3 復興事前準備の取組みの推進 目標5

#### 災害に備える体制の検討

- ・市民や事業者などとともにまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。

まちづくり構想図(額田地域)



No	主な施策・事業
1	面的な整備による良好な市街地の形成
2	地域交流機能の維持・保全
3	産業用地の検討